
中国地域産学官コラボレーションセンター 主要活動報告

平成25年 7月 23日
中国地域産学官コラボレーション会議
(中国地域産学官コラボレーションセンター)

平成25年度 活動計画

1. ポスト新結合プランの策定
2. 中国地域産学官コラボレーションシンポジウムの開催
3. 中国地域国立5大学連携事業の推進
4. 中国・四国地域連携会議(大学人材育成)の推進
5. キャンパスベンチャーグランプリ中国(第12回)の開催
6. インテレクチャル・カフェ広島開催

(1) ポスト新結合プランの策定

目的

新結合プランはH24年度で区切りを迎えるため、関係機関と意見交換のうえ
ポスト新結合プランを策定する。

概要

本全体会議 資料1を参照。

(2) 中国地域産学官コラボレーションシンポジウムの開催

地域イノベーション創出2013 in やまぐち

目的	中国地域の産学官連携活動の深化，発展を図ることを目的に，関係機関の活動報告や情報・意見交換を行うシンポジウムを，各県持ち回りで毎年1回開催する。
日時	平成25年 7月23日(火)
場所	海峡メッセ下関(下関市)
主な内容	<ol style="list-style-type: none">1. 挨拶2. 基調講演3. 産学官連携の先進事例紹介4. 経済政策について



(3) 中国地域国立5大学連携事業の推進

～「広域研究プロジェクト」に向けた意見交換会～

H24年度実施の「化学分野」およびH23年度実施の「木質バイオマス分野」における広域共同研究プロジェクト実現の支援・フォロー

内 容

- 化学分野における複数の大学・企業による「広域共同研究プロジェクト」の実現を目指し活動
 - H24年度実施したシーズ説明会後の「複数の大学・企業による広域共同研究プロジェクトテーマ提案募集」の応募19件の中から5件程度のテーマを選定し、テーマ毎に大学、企業、行政・支援機関による研究会を開催。
 - 共同研究内容のブラッシュアップと公的な研究開発事業等への応募を支援。
- H23年度実施の木質バイオマス分野の研究テーマも引き続き支援・フォローを実施。

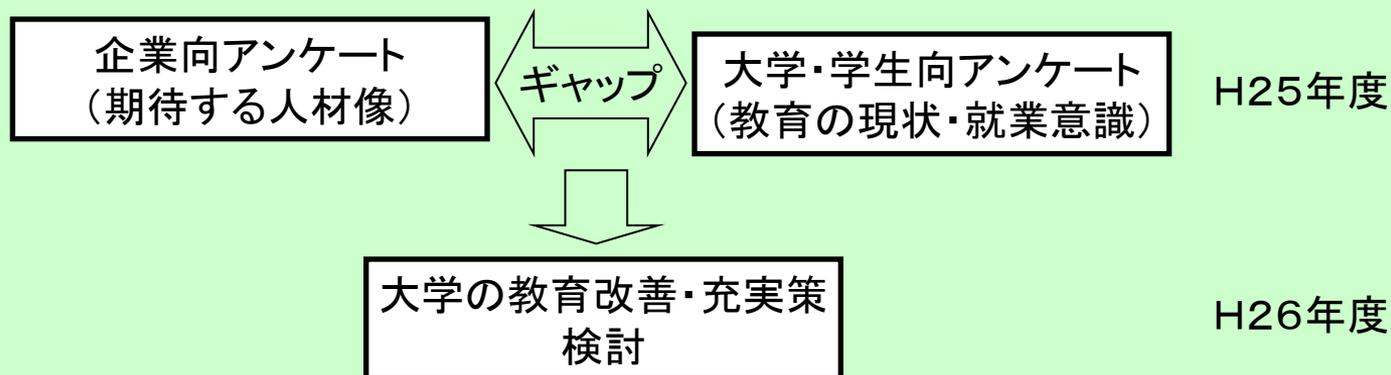
(4) 中国・四国地域連携会議(大学人材育成)の推進

目的

大学，産業界の緊密な連携のもとに，就業力育成の観点から大学教育を点検・改善し，産業界等のニーズに応えうる人材養成を推進する。

内容

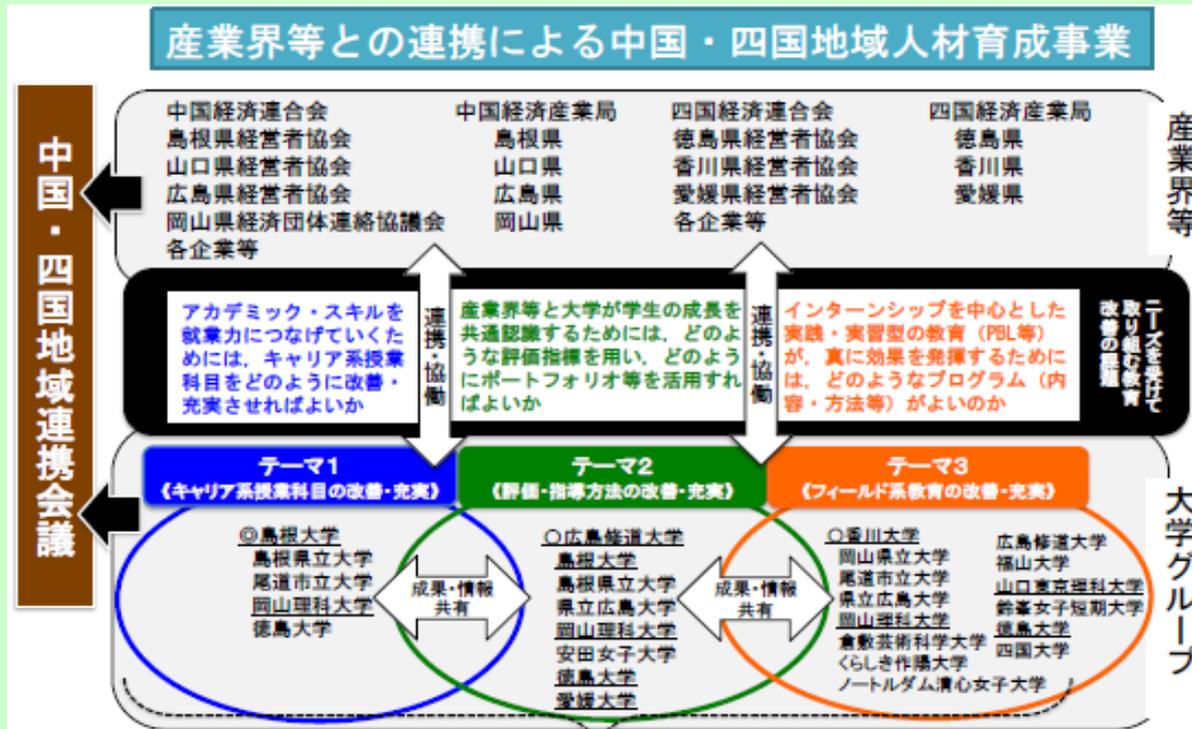
企業，大学，学生を対象にアンケート調査・ヒアリングを実施し，産業界の期待する人材像，大学教育の現状，課題，学生の就業意識などを把握・分析し，大学教育の改善・充実策(キャリア教育の体系化，教育科目の開発，学修成果の評価方法等)を検討する。



実施体制

中国・四国地域連携会議

中国経済産業局，四国経済産業局，中国経済連合会，四国経済連合会
自治体，各県経営者協会，事業参加18大学で構成。H24.11設置



(5) キャンパスベンチャーグランプリ中国（第12回）の開催



目的

学生のビジネス・起業家精神を高揚し、創造性・チャレンジ精神に富む人材を育成する。

内容とスケジュール

- ～ 9月 ビジネスアイデア創出・プラン作成セミナー
- 9月 CVG募集開始(10月末募集〆切)
- 11月 書類審査・プランの絞り込み
- 12月 最終審査会
- 1月 表彰式

運営体制

- <主催> キャンパスベンチャーグランプリ(CVG)中国実行委員会
【実行委員長】山下 隆 (中国経済連合会 会長)
- <共催> 中国経済連合会, 中国地域産学官コラボレーション会議
中国四国産業人クラブ, 日刊工業新聞社

【参考】 ビジネスアイデア創出・プラン作成セミナー

○ 平成25年度は、昨年、初めて開催した標記セミナーを、カリキュラムの充実を図り、2日間に亘り開催する予定。

本セミナーで作成するビジネスプランはCVG中国応募を目指す。

〈目的〉・他校の学生との交流により、刺激を受ける機会を提供すること
・起業のためばかりでなく、あらゆる仕事で求められる「自分の構想を他の人に伝え、説得するスキル」を身に付けること

〈日時〉 平成25年9月9日(月)～10日(火)

〈場所〉 県立広島大学サテライトキャンパスひろしま

〈定員〉 40名程度

〈主催〉 中国地域産学官コラボレーション会議、日刊工業新聞社

〈後援〉 広島大学、県立広島大学など広島県内の9大学

〈プログラム〉

◆講演：(株)流通プランニング研究所 代表取締役 川上正人氏

◆グループワーキング

定められたテーマに基づいてディスカッションを行い、新たなビジネスアイデアを創出し、ビジネスプランを作成

◆プレゼン、審査、表彰



(6) インテレクチャル・カフェ広島の開催



目的

広島地域における大学の若手研究者と産業界・金融機関・行政等が交流し、新技術・新製品の開発や新事業を生み出すネットワークを形成する。

内容

- 開催方法
 - ・複数大学の共催で年3回程度実施する。
 - ・年間の共通テーマを設定する。
 - ・話題提供(1時間)＋交流会(1時間)の構成とする。
- 年間共通テーマ案
ロボット技術(RT)